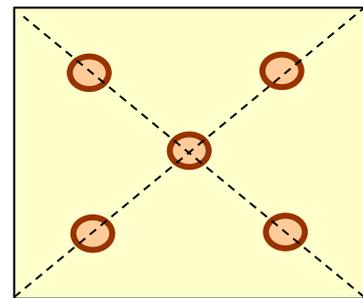


土壌分析をしましょう

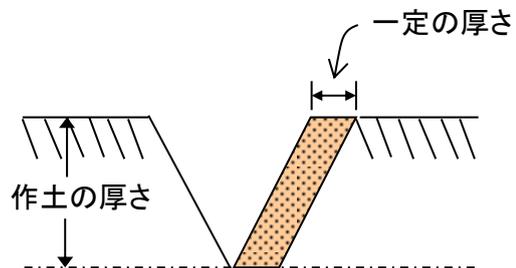
- 土壌診断でコスト減、そして環境保全も大切です。
- 微量元素(ニッケル、銅、亜鉛)も正確に分析出来ます。

土の採取

- 右図のように、対角線上5ヶ所から採取する。
- 水田は、比較的均一なので、一方の対角線上の3点でも良いです。
- 作物の生育に気になることが有った場所、良かった場所をそれぞれ採取して土壌による影響が有ったか分析しましょう。
- 毎年分析を行っている方は、更に細かく、4・5年以上分析していない方は、1点でも多く分析しましょう。



- 1サンプルにつき、だいたい250g(コーヒージャースの細いロング缶1本分)を乾燥、砕いて活性化センターまで持込んでください。



- 土を持ち込まれたときに、施設、露地、前作、予定作物などを必ず明記してください
- その他、耕起前、後、施肥後、客土後など、何か有りましたら、畑の情報を係の者に伝えてください。
- ※ 9月以降に持ち込まれた土は、来年2月末頃までに、PH、EC、リン酸の他に、カリ、マグネシウム、カルシウム、窒素、水田におきましては、ケイ酸も分析いたします。その他分析項目については、ご相談ください

- ※ 不明な点がございましたら、お気軽に和寒町農業活性化センターまで、お問い合わせください。

和寒町農業活性化センター TEL 32-2010
FAX 32-2448

